

金庫網を活用したブリの漁獲コントロール技術の開発

ブリは京都府の定置網漁業の重要種です。しかし、令和 7 年度から国の資源管理の対象となり、今後はより厳格な管理が本種には求められています。一方、定置網漁業は待ち受け型漁業であるため資源には優しいものの、漁獲のコントロールが難しいという一面があります。

そこで、当センターでは、「金庫網※」を活用し、ブリの漁獲をコントロールするための技術開発を今年度から国の補助金を活用して実施しています。4 月 22 日には協力漁場の漁船に乗船して事前調査を実施したところ、想定していた調査手法の一部について実施が困難であることが判明するなど一定の知見が得られました。

今後は、現場に即した調査内容を再度組み立て、調査に臨むこととしています。

※金庫網：狭所を好むブリの特性を利用し、古くから利用される小部屋のような網。

基本的には寒ブリシーズン(冬)に他魚種との分離・出荷調整を目的に使用。



金庫網上部の巾着部を開放して水揚げするところ



金庫網の漁獲物(ブリ)